

哈尼族草頂土掌房における住様式の持続と変容
-中国雲南省・伝統的土掌房住居の空間概念に関する研究-(その2)

正会員 徳永 悠二 *2
中島 寿 *2
佐藤 一之 *1
真野 洋介 *3
初見 学 *4

八二族 草頂土掌房 変容過程 中庭

研究目的

前項の墮脚村は、1999年に調査を行った八二族の住居と同様の住居形式(2000年度大会学術講演梗概集E-2/No5690を参照)についての持続と変容の要素の抽出を行った。本稿では、同じ土掌房という建築形式に大別され、八二族という同一民族、地域にありながら、前項の墮脚村の住居とは、その形式において明らかな差異の見られる住居形式で構成される干塘村での住居、集落において持続している要素、変容している要素の抽出を行う。

干塘村集落概要(図.1・表.1)

干塘村は海拔2300m程の西側に山頂、東側に谷という山岳斜面地の山腰に立地する。等高線方向にやや横長の形態で密集して集落を構成する。墮脚村と同様に谷側には一面に棚田が広がる。路地の構成は斜面方向に通る主導線としての路地と、そこから枝分かれして等高線方向に通る副導線としての路地である。主導線となる路地の下端、集落の中心的な場所に集会所と共同水場があり、集会所は日中の男の居場所となっている。住居は、等高線方向に帯状に配置される主屋と、主屋の谷側に配置される副屋で構成される。住居へは住居谷側の副導線からアクセスする。等高線方向の隣家との住居間隔は狭い。

干塘村

典型的住居構成(図2・3)

干塘村で最も多く見られる住居は山側の主屋、谷側の副屋で構成される。主要生活空間となる主室は接地階に設けられる。

主屋は土壁により大きく三つに仕切られる。手前の空間は接客や日常の居間的な性質を持つ前室で、両側を木壁で仕切り個室として利用する事が多い。奥左側の空間は、400mm程レベルが上がった板間で構成され、主人のベット、いろり、先祖を祭る場所がある主室と、かまどのある厨房、主室の左側に木壁で仕切られた女性の寝室がある。奥右側の空間は、日常的には、鶏が飼われていたり、個室として利用したり、倉庫であったりと様々である。非日常的には葬式の際、死体の安置場所として使われる。副屋の機能は主に家畜小屋、倉庫であるが、生活空間として利用している住居も見られる。

集落名	干塘村(gan tang cun)
海拔/立地	海拔2300m / 山岳斜面地
人口	270人
世帯数	54戸(内45戸調査)
構成民族	八二族100%
成立時期	約130年前
生業	農業

表.1 干塘村集落概要



図.1 干塘村集落図

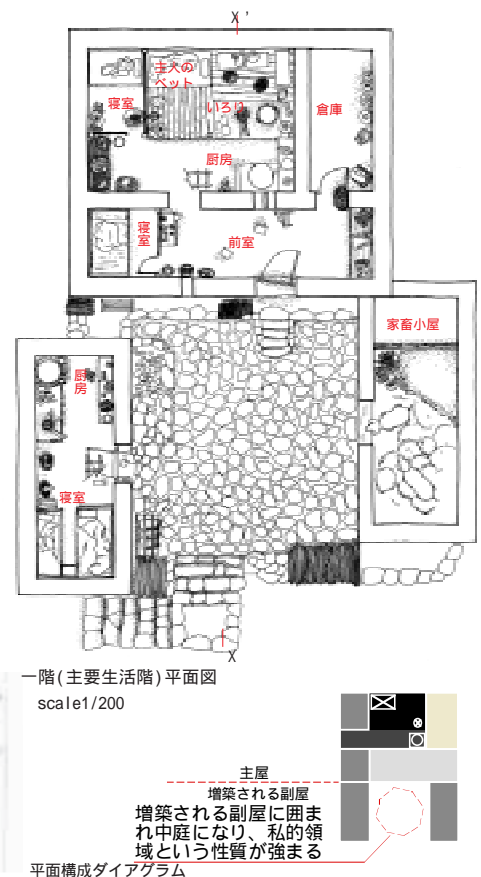


図.2 干塘村典型住居平面構成

Continuation and Transfiguration of house desing and livènginst'GAO DING TU JUNG FUNG" of Hani-minority

~ A research on the space general idea of the traditional f'ug jdnglling in Yunnan province China,Part ~

Yuuji TOKOUNAGA, et al

住居形態の変容(表.1)

干塘村の住居では、主屋の典型的平面形態に変容は見られない。住居形態に関しての変容は副屋の増築に現れる。従来の形式では主屋のみであったのが、時間と共に副屋の棟数が増える傾向にある。副屋の増築により、主屋の前庭の領域感覚に変化が生じる。主屋のみの住居では、前庭に石を並べることで領域の表現していたのが、前庭を囲むように副屋を増築していくことで、住居規模を拡大し、エントランス前の場所の領域を明確にしている。

副屋一棟の場合では、副屋は、家畜小屋、倉庫としての機能のみであったのが、二棟以上の副屋を有する住居では、生活空間として利用されるようになり、二世帯での居住が可能になる。また、路地とのレベル差をつける事により、路地、中庭、主屋、主室の4つのレベルができることで、住空間に明確な領域分けがされる。最終的には、三棟により完全に囲む事で主屋のエントランス前の居間的に利用される場所は、中庭となり、私的領域という性質が強くなっている。ここでの中庭の機能としては、求心的な場所ではなく、集落と主室という方向の中にある領域のひとつであり、私的領域という性質は強まるが、公的な性質も維持している為、住人以外でも入る事が可能な領域である。

変容の段階は副屋の増築により右の四段階に大別できる。

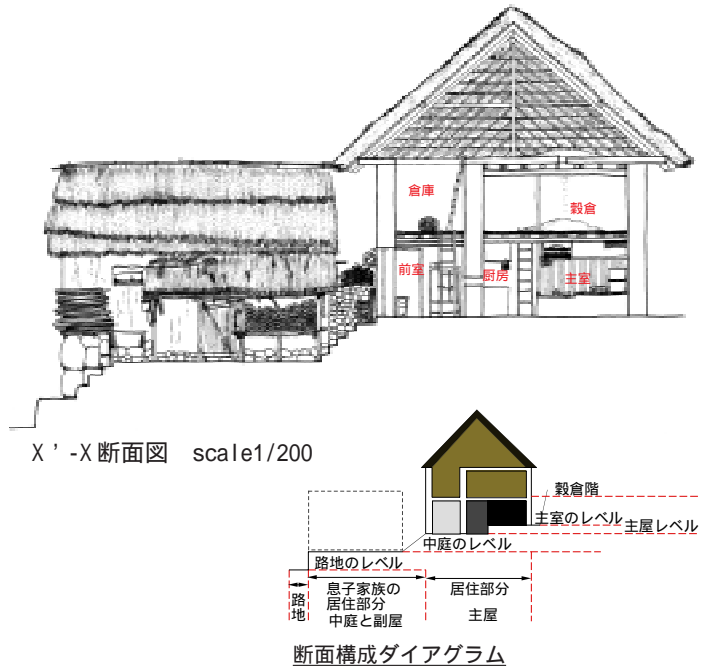
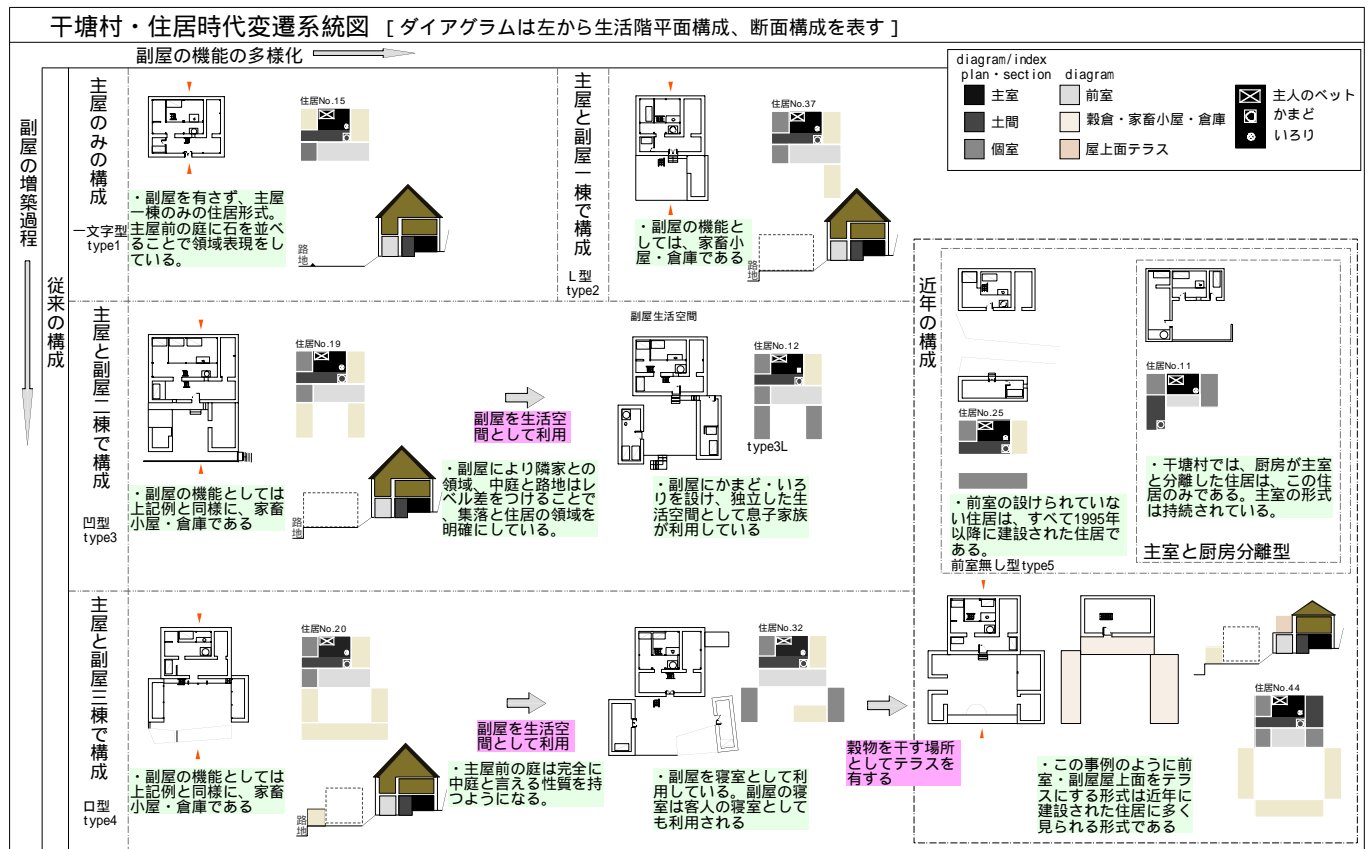


図.3 干塘村典型住居断面構成

- 一棟の副屋によりL型を構成する。
- 二棟の副屋により凹型を構成する。
- 三棟の副屋で口型を構成し、完全に中庭を形成する。屋上面をテラスにする。

表.2



*1 スターツ株式会社 工務 Start's Co.,Ltd.
 *2 東京理科大学理工学研究所 Graduate School of Science Tokyo University of Science.
 *3 東京工業大学大学院 助教授・工博 Asso.Prof.,Tokyo Institute of Technology,Dr.Eng.
 *4 東京理科大学理工学研究所 教授・工博 Prof.,Graduate School of Science and Engineering, Tokyo University of Science,Dr.Eng.